



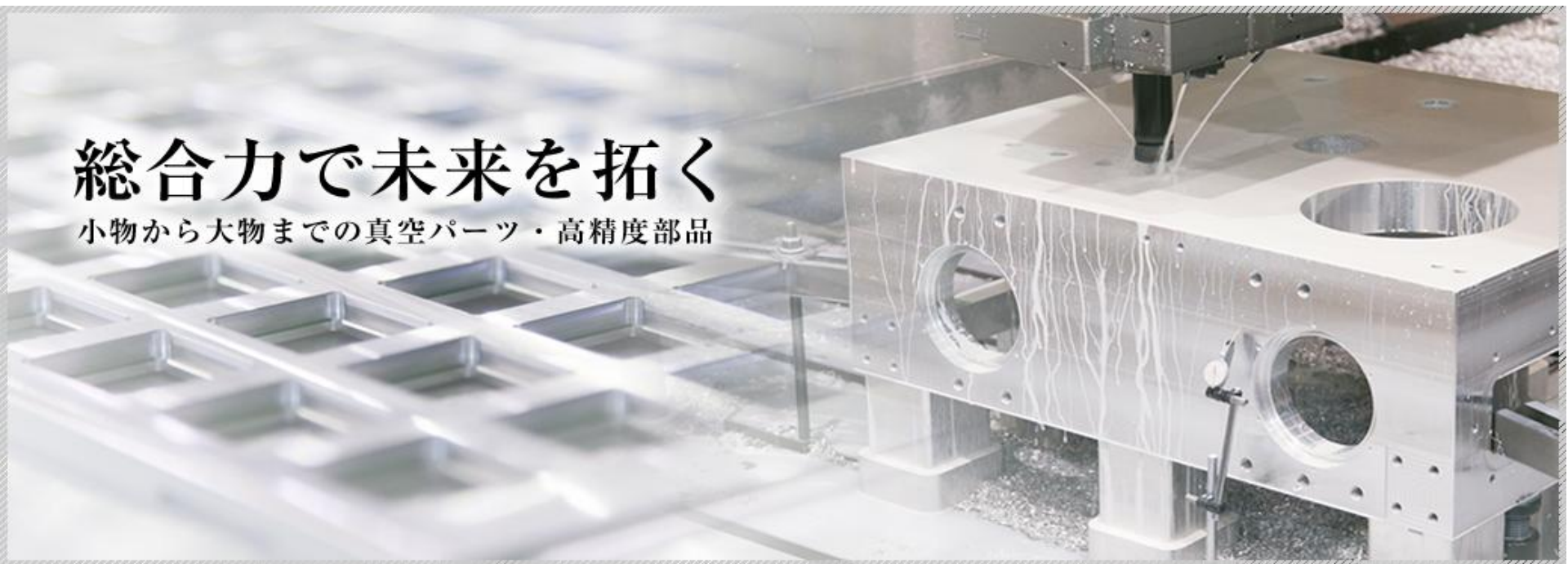
東証(TSE):6264

株式会社マルマエ
平成30年8月期 第2四半期 決算説明会

平成30年4月19日
大手町サンケイプラザ 312号室

総合力で未来を拓く

小物から大物までの真空パーツ・高精度部品



PL分析

PL

	平成29年8月期 第2四半期累計期間		平成30年8月期 第2四半期累計期間		
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)	対前年同期 増減率 (%)
受注高	1,436	—	2,345	—	63.2
受注残高	518	—	1,092	—	110.8
売上高	1,296	100.0	2,118	100.0	63.3
売上原価	861	66.4	1,279	60.4	48.5
売上総利益	435	33.6	838	39.6	92.7
販売管理費	157	12.2	262	12.4	66.3
営業利益	277	21.4	576	27.2	107.6
経常利益	270	20.8	569	26.9	110.7
当期純利益	184	14.2	408	19.3	121.9
EPS (円)	17.47	—	34.28	—	96.3
EBITDA	371	—	709	—	91.1

Point

①受注状況

- 半導体分野：1,782百万円
(対前年同期：76.5%増)
- FPD分野：536百万円
(対前年同期：28.2%増)
- その他分野：26百万円
(対前年同期：215.2%増)

②売上高

- 対前年同期63.3%の増加
- ※分野別の詳細は次頁

③売上原価・売上総利益

- 材料費：48百万円増
(対前年同期：20.1%増)
- 労務費：104百万円増
(対前年同期：37.1%増)
- 外注加工費：119百万円増
(対前年同期：64.9%増)

④営業利益

- 租税公課：67百万円増(登録免許税等)

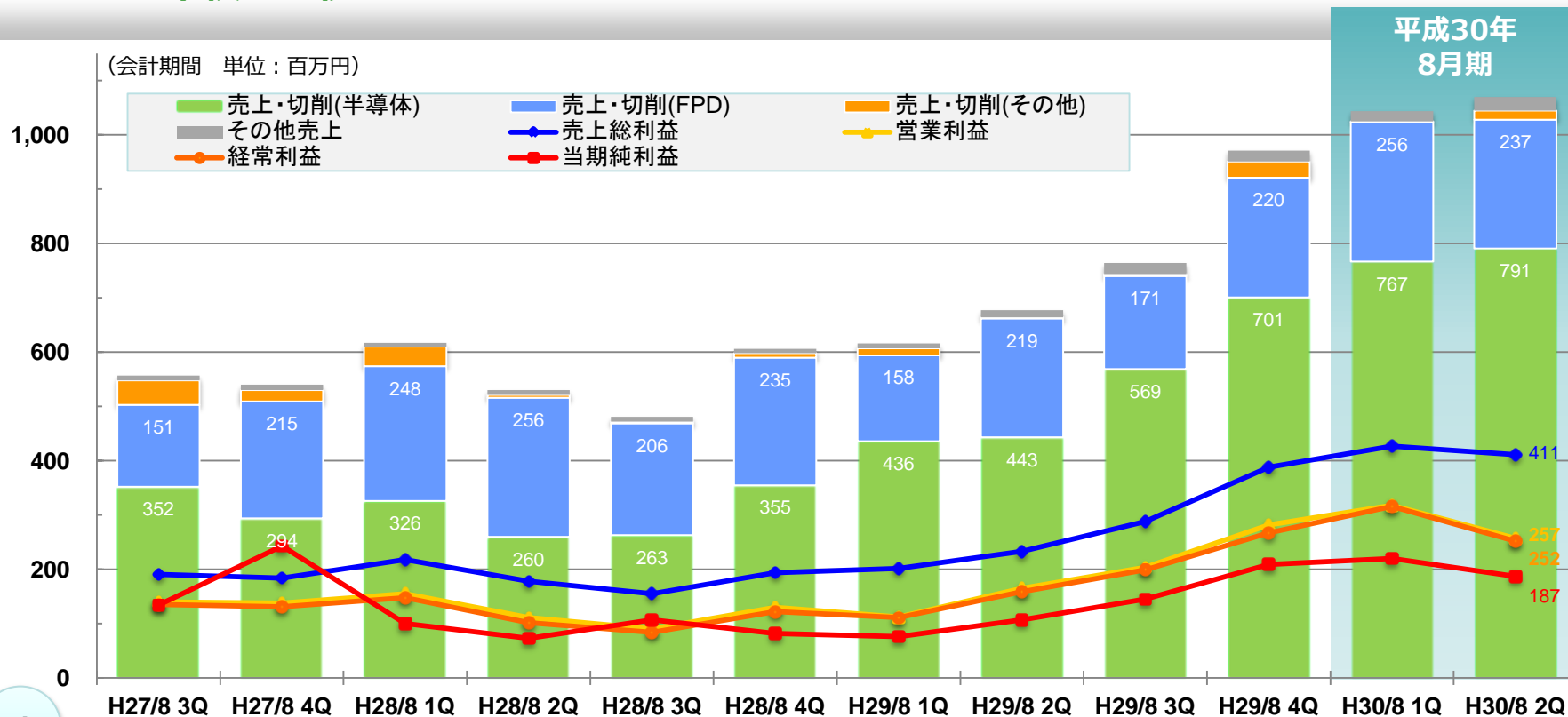
⑤営業外収益/費用

- 支払利息：7百万円
- 法人税等：165百万円

1.決算概要



四半期業績の推移



Point

①売上高は、半導体・FPD分野が前期比大幅増加

■半導体分野：1,559百万円（対前年同期：77.2%増）

- ・需要拡大に合わせて、生産設備の増強と流動的人材の確保も進め生産体制を強化

■FPD分野：493百万円（対前年同期：30.5%増）

- ・有機ELとG10.5液晶パネルの受注拡大

■その他分野：20百万円（対前年同期：26.5%増）

②損益面は売上増加で好調も特殊要因で一時的停滞

- ・売上高の増加に伴い材料費と外注加工費も増加
- ・生産設備の増強と人材採用を積極的に進めていることで、減価償却費や労務費等が大幅に増加
- ・出水事業所取得による登録免許税の発生：51百万円

※グラフは四半期毎の会計期間の数値ですが、ポイントのコメントは当期の累計期間の数値となっております。

1.決算概要



B/S分析

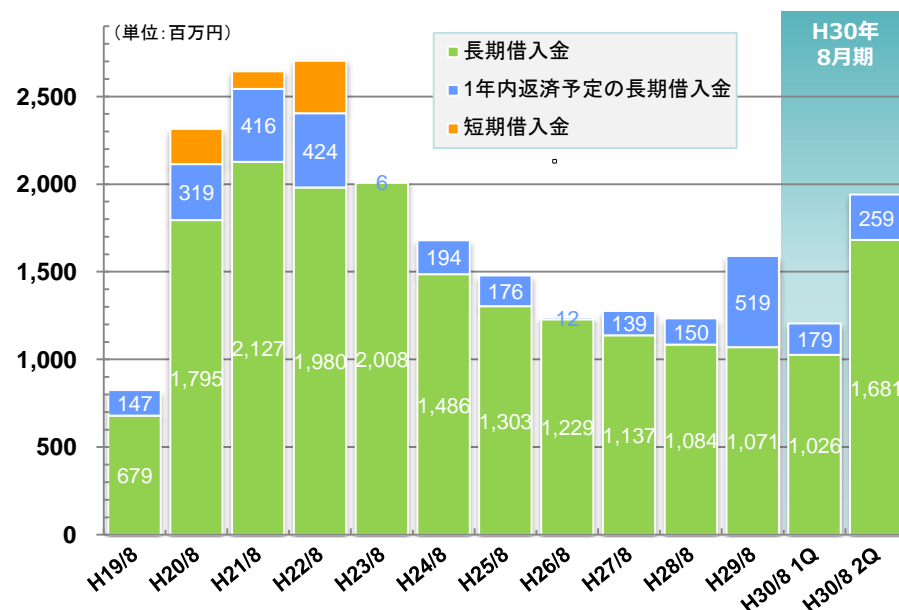
B/S

(単位：百万円)	平成29年8月期 会計年度末	平成30年8月期 第2四半期末
流動資産	3,701	3,347
現金及び預金	2,425	1,901
売上債権 (受取手形・売掛金・電子記録債権)	910	1,054
たな卸資産	315	341
固定資産	1,717	2,611
建物・土地	777	1,557
機械及び装置	852	922
流動負債	1,188	783
有利子負債（短期）※	519	259
固定負債	1,092	1,702
長期借入金	1,071	1,681
負債合計	2,281	2,485
純資産合計	3,137	3,473
総資産	5,418	5,959

※ 有利子負債（短期）：短期借入金＋1年内返済予定の長期借入金

Point

- ① **資産：5,959百万円(前期末比:540百万円増加)**
 - ・有形固定資産：891百万円増加
 - ・売上債権：143百万円増加
 - ・現金及び預金：523百万円減少
- ② **負債：2,485百万円(前期末比:203百万円増加)**
 - ・長期借入金：610百万円増加
 - ・支払手形及び買掛金：27百万円増加
 - ・1年内返済予定長期借入金：260百万円減少
 - ・未払法人税等：13百万円減少
- ③ **純資産：3,473百万円(前期末比:336百万円増加)**
 - ・利益剰余金：336百万円増加
 - ・自己資本比率：57.9%→58.3%

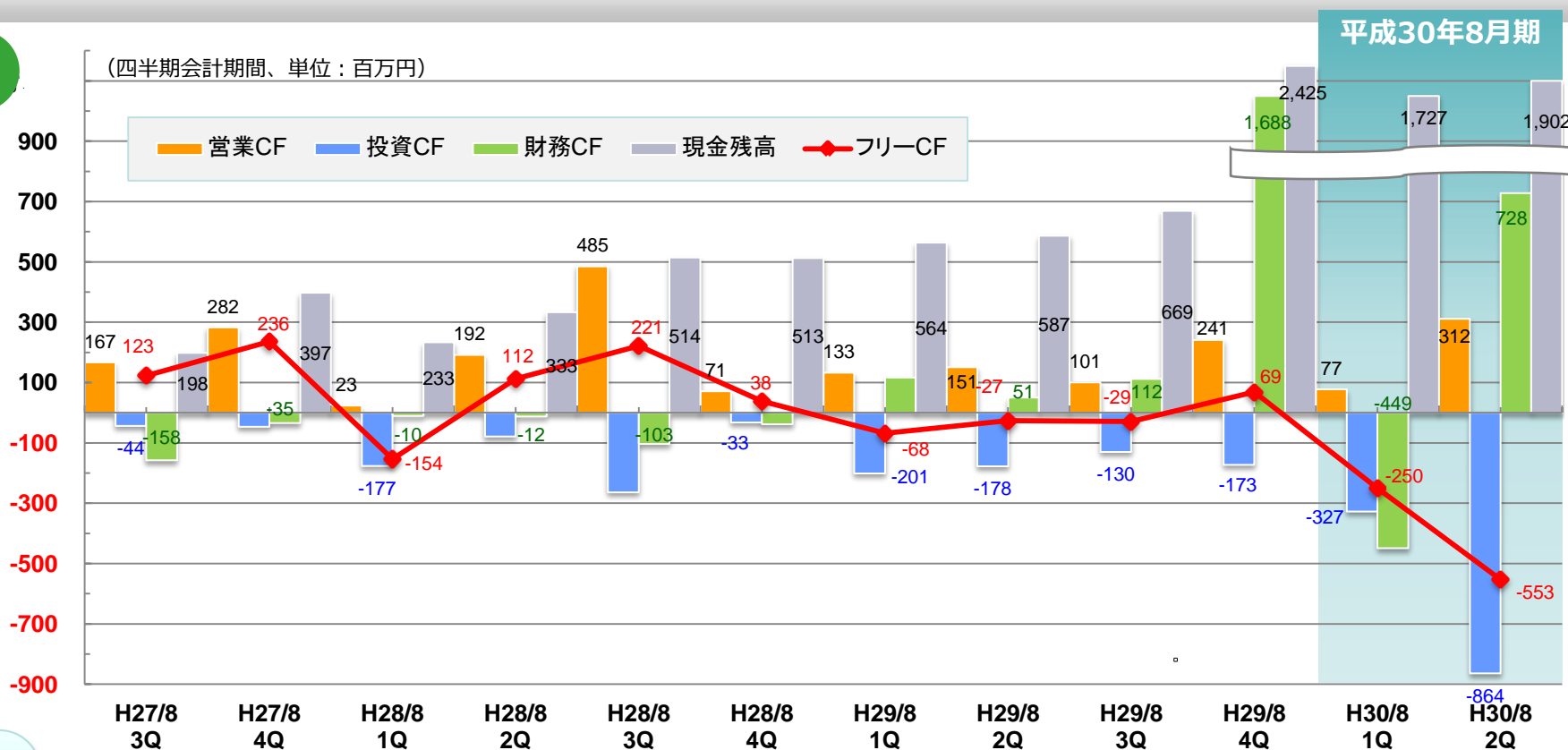


1.決算概要



CF分析

CF



Point

① 営業活動によるCF (当期累計) : 388百万円

- 税引前当期純利益 : 573百万円
- 減価償却費 : 132百万円
- たな卸資産の増加 : 25百万円減少
- 売上債権の増加 : 143百万円減少

② 投資活動によるCF (当期累計) : ▲1,191百万円

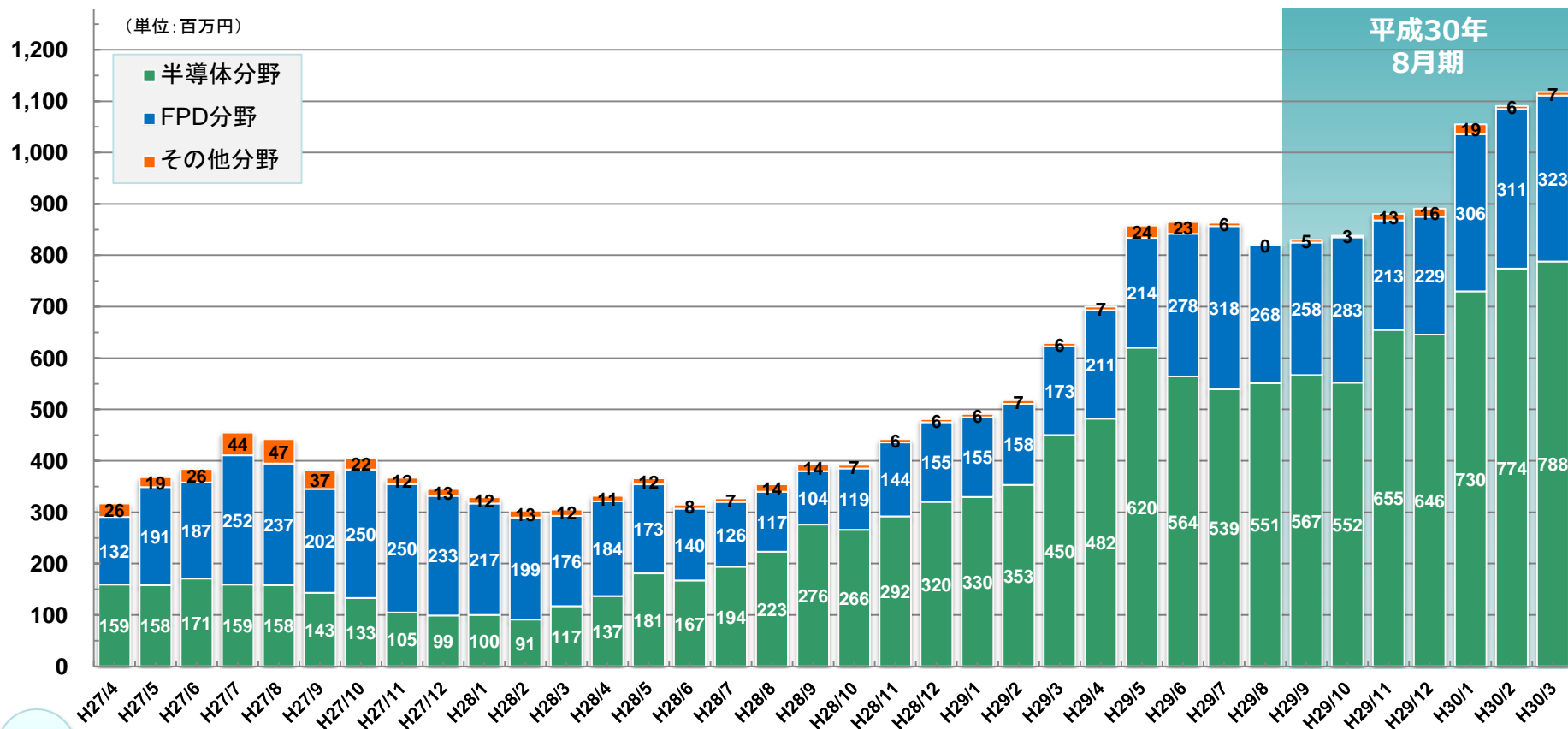
- 有形固定資産の取得による支出 : 1,193百万円

③ 財務活動によるCF (当期累計) : 278百万円

- 長期借入れによる収入 : 800百万円
- 長期借入れの返済による支出 : 449百万円
- 配当金の支払額 : 71百万円

※グラフは四半期毎の会計期間の数値ですが、ポイントのコメントは当期の累計期間の数値となっております。

月次受注残高の推移



Point

- 半導体分野では、出水事業所の設備増強と電子ビーム溶接関連の受注が増加、段階的な受注増加を見込む。中長期的にも需要拡大傾向であり、出水事業所の余剰スペースを活かし、柔軟に設備投資を行う。
- FPD分野は、第 10.5 世代大型液晶パネル向けと有機 E L 関連装置の高水準な需要が 1 年以上続く見通し。

※当社の受注は、案件ごとに長短さまざまなリードタイム (LT) があり、LTの長い案件が多いと売上高にくらべ受注残が多めで、LTが短い案件が多いと売上高にくらべ受注残は低めに表れます。

販売分野別の環境と方針

半導体分野

- ◆ 市場環境はメモリが好調も米国など一部ロジックは軟調
- ◆ 引き続き、エッチャーとCVD工程で受注品種の拡大を狙う
- ◆ 出水事業所の操業で生産力と生産性の向上を実現

FPD分野

- ◆ 中国においてG10以上の液晶とG6有機EL投資続く
- ◆ 得意分野製品へ特化し原価率の改善狙う
- ◆ 新規顧客の開拓と選別受注の継続

その他分野

- ◆ 全体的に市況は好調も生産余力無く新規受注困難
- ◆ 外注活用で受注進める

3.平成30年8月期の業績予想

今期の見通し(損益・設備投資・固定費要因)

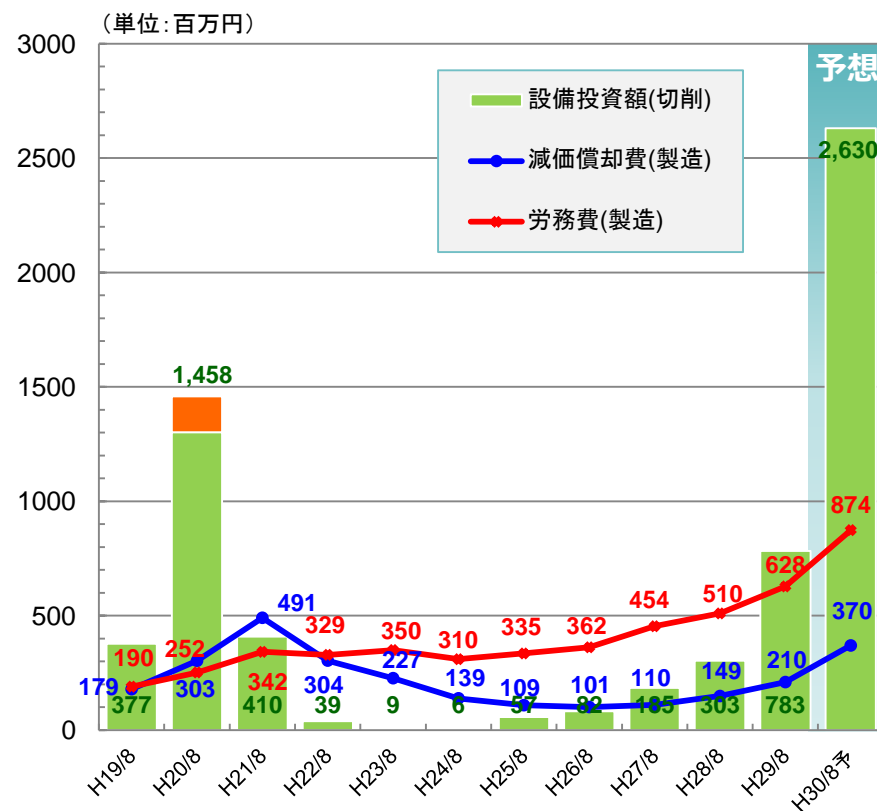
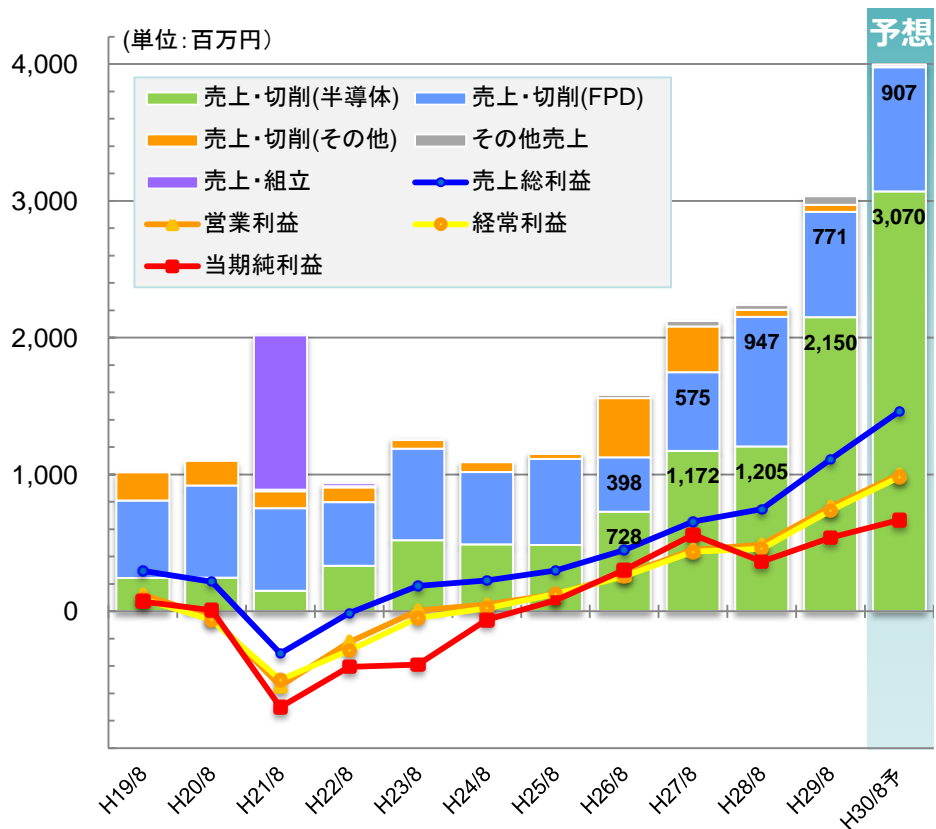
業績
予想

(単位：百万円、1株当たり当期純利益は円)

平成30年8月期 業績予想	売上高	営業 利益	経常 利益	純利益	1株当たり 純利益
通期	4,000	1,000	980	668	56.08

Point

- ✓ 足元の受注及び売上は好調
- ✓ 過去最大投資で受注拡大狙う
- ✓ 出水事業所取得等、顧客要望に応え、設備投資上乘せを行う。減価償却費等は増加
- ✓ 費用増加も増収効果で補い利益率向上



中期事業計画の状況

中期事業計画

中期事業計画の進捗と優先順位

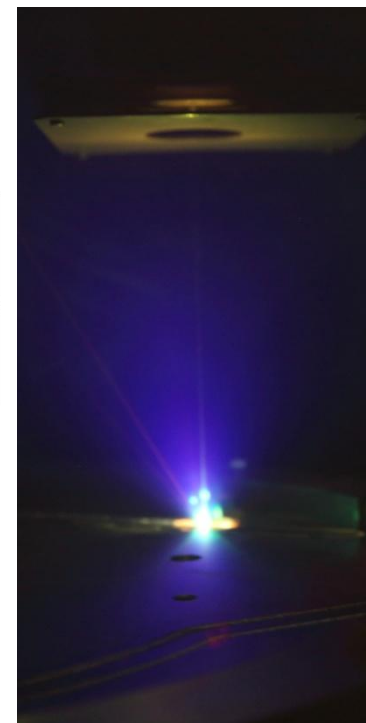
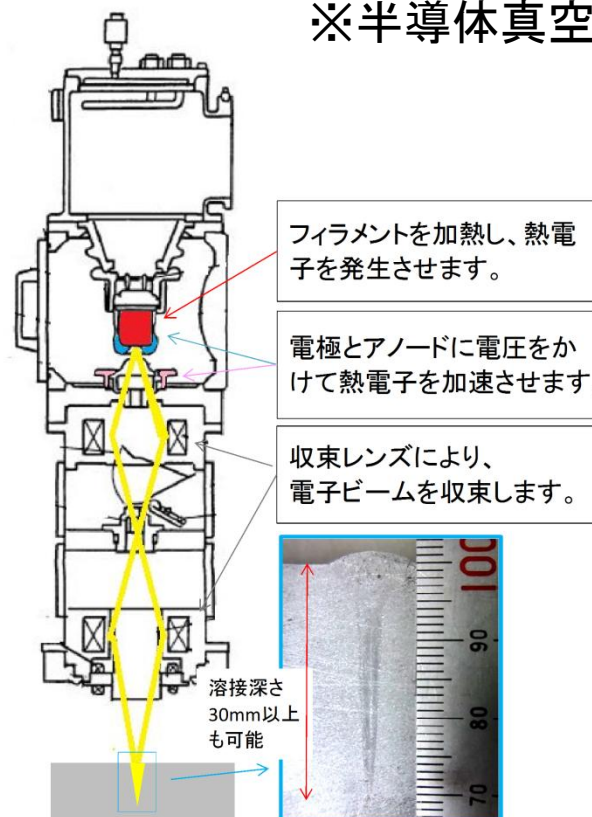
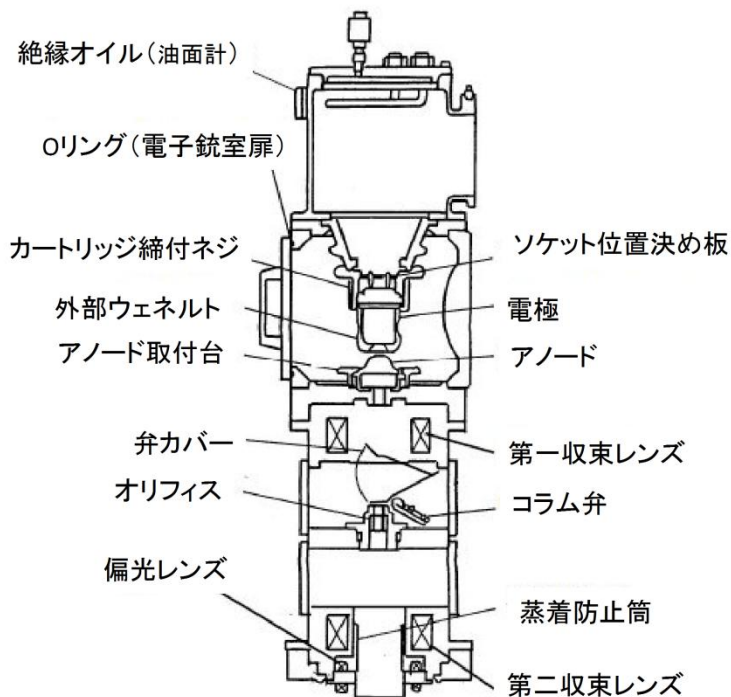
事業分野	目標	進捗等
既存事業	半導体分野の伸長 生産性向上	エッチャー・CVDで拡大続く 出水事業所取得で増産継続
M & A	中小を中心にシナジー有り 又は半導体のリスクヘッジ	自社投資を優先し中断
新分野	作業補助・介護ロボット等	鹿児島大学と共同研究 開発部内に医療機器課を設置 製造販売業の認可申請を進める EBW事業の開始
市場変更	期間中に東証一部を目指す	規模とステージに合う管理体制構築に課題。チャレンジ継続

電子ビーム溶接 (EBW)について

電子ビーム溶接機とは

電子ビーム溶接とは、真空内で電子ビームを高速に加速し、素材に照射することによって素材を溶融させながら溶接する加工機です。

※半導体真空部品の溶接に活用



【電子銃の構造と電子ビームの原理】

電子ビーム溶接 (EBW)について

特徴

- ・真空中でアルミ・銅等の非鉄金属、特殊金属の高品位溶接
- ・ビームの収束性・制御性が高く、低入熱・低歪み溶接可能
- ・磁束の偏向などの電子制御により溶接の高い再現性



	主仕様
メーカー	三菱電機製
電子ビーム出力	15kW(最大)
加速電圧	40kV、60kV
溶接姿勢	下向き
加工室サイズ	W1.5×D1.5×H1.5 (m)
各サイズ (単位:mm)	トップテーブル (X)300×(Y)420 移動ストローク (X)600×(Y)510 ※A/C回転テーブル付



Company Profile

企業情報

当社製品は世界中で半導体・液晶製造装置の心臓部を支えています

主要工程

- エッチング
- CVD
- コータ/デベロッパ
- スパッタ
- 枚葉洗浄
- アッシング
- ウエハーボンディング
- イオン注入
- アニール

主要製品

- 真空チャンバー
- シャワーヘッド
- 排気板
- 静電チャック
- ヒーター類
- 上部電極
- ターゲット
- 搬送系パーツ類
- 各種真空パーツ類

※画像はイメージです

会社名	株式会社マルマエ (Marumae Co., Ltd.)
設立	昭和63年10月
資本金	5億8,117万円 (平成30年2月28日現在)
役員	代表取締役社長 前田 俊一 取締役 海崎 功太 取締役 (監査等委員) 兒島 吉二 取締役 藤山 敏久 取締役 (監査等委員) 鶴田 俊成 取締役 (監査等委員) 寺畑 幸雄 取締役 (監査等委員) 梶 智和 取締役 (監査等委員) 大道 卓 取締役 (監査等委員) 桃木野 聡
従業員数	187名 うち 臨時雇用者等102名 (平成30年2月28日現在)
所在地	高尾野事業所 〒899-0401 鹿児島県出水市高尾野町大久保3816番41 (本社) 関東事業所 〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町2-17-15 出水事業所 〒899-0216 鹿児島県出水市大野原町2141番地
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・精密機械、精密機器の設計、製造、加工 ・精密機械部品の設計および製作 ・産業および医療機械器具の設計、製造、販売 ・ソフトウェアの開発、販売 ・製缶工事 ・配管工事 ・運送業務 ・不動産の賃貸
経営理念	<ol style="list-style-type: none"> 1.技術は究極を目指し 2.競争と協調を尊び 3.技術注力企業として社会に貢献する <p>経済を支える“モノづくり”の中で、モノづくりの源流である部品加工にこだわっていきます。そして、さまざまな分野で総合メーカーを支えられる企業となるために先端技術と供給力を持つ部品加工のリーディングカンパニーを目指します。</p>

発行済株式総数	11,911,600株	
単元株式数	100株	
株主総数	5,835名	
大株主 (普通株式)	前田 俊一	4,817,200株
	前田 美佐子	504,000株
	日本トラスティ・サービス 信託銀行	447,100株
	日本マスタートラスト 信託銀行	279,600株
	BNY GCM CLIENT ACCOUNT J PRD AC ISG	215,401株
	DEUTSCHE BANK AG LONDON 610	206,700株
	前田 良子	180,000株
	五十嵐 光栄	168,000株
	川本 忠男	147,500株
	BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNY GCM CLIENT ACCOUNTS M LSCB RD	123,700株

(注) 自己株式が97株あります。

(平成30年2月28日現在)

本資料に掲載された情報、及び、口頭によって説明された実現していない内容に関しては、ある一定の仮定の元に予想された見通しであり、マルマエ経営陣の判断など不確実要素を含んでおります。

本資料は、株主・投資家などの皆様にマルマエの現況と経営方針をご理解いただくために作成されたものであり、利用者に対して、当社株式の購入・売却など投資判断を提供するものではありません。投資に関する責任は負いません。

数値などの情報には注意をはらっておりますが、掲載の内容については未監査の数値も多く、確度を保証するものではありません。また、掲載された情報、またはその誤りについて、その理由に関わらず、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料に関するお問合せ先

株式会社マルマエ 管理本部総務課 IR担当

ir@marumae.com

TEL 0996-64-2900 FAX 0996-64-2863